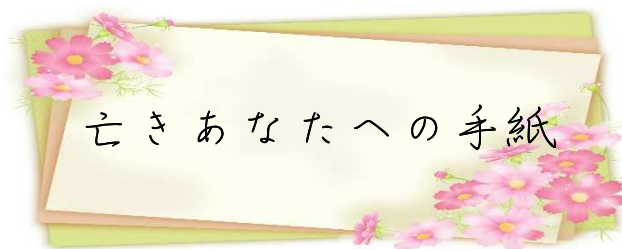


# 真言院 寺 報

平成 27 年 11 月号



## 亡きあなたへの手紙

この世を去っていかれた大切な人に伝えなかったことはありませんか。

生前に言い出せなかったこと。  
今だから伝えられること。

あなたの想いを一字一字に託せば、心が整理され、悲しみが少しでも癒されるかのではないのでしょうか。今は亡きあの人に手紙を書いてみませんか。

お預かりしたお手紙はご本尊前にお供えし、開封することなく浄火をもって供養いたします。ご本尊さまがあなたと亡き人との「お手つき」を勤めてくださいます。

※ 手紙は封筒に入れ、封をして、「亡きあなたへの手紙」と表書きしてください。

※ 手紙は住職に手渡しするか、または真言院宛てにお送りください。

※ ご供養は無料です。

(ご本尊さまに御礼を包みたい方は、「手紙」とは別の包みに入れてください。)

※ 戒名・命日・享年が分かれば、記載した紙も同封ください。

※ 差出人の宗教は問いません。匿名でも結構です。

亡くなられたお父さん、お母さんへ。

会ったことのないお祖父さん、お祖母さんへ。

亡くなってしまった同級生やお友だちへ。

死別した奥さま、お子さんへ…。

別れの悲しみ、近況報告、今の喜び、感謝の気持ち…。伝えられなかったこと、伝えたいことを、ご自由に書き下さい。

## 法要案内

11月20日(金) 午後1時より

しゅうそこうぼうだいし  
宗祖弘法大師

ほうおんえほうよう  
報恩会法要

を勤修いたします。

正午より 昼食のご接待

婦人部手作りの美味しい昼食をご用意しております。

午後1時より 本堂にてお勤め

午後2時より 法話

富良野市 弘雲寺 住職

斎藤 寛秀 僧正

※ 塔婆供養(一供養 五百円) 受付いたします。



<発行元> 金胎山 真言院

北海道虻田郡真狩村字真狩 102 番地

(TEL) 0136-45-2644

(FAX) 0136-45-3035

(メールアドレス) myosho@shingon-in.jp

(ホームページ) <http://www.shingon-in.jp>

■ ホームページができました ■

- ・墓、納骨堂、永代供養等のご案内
- ・真言院からのお知らせ
- ・住職ブログ など

真狩 真言院



<http://www.shingon-in.jp/>

## ごえいか 御詠歌コンサートへ行ってきました

10月29日、札幌市教育文化会館大ホールにて、高野山真言宗金剛流合唱団による御詠歌のコンサートが催され、役員や参与会員の方々と研修会を兼ねて聴きに行きました。

御詠歌とは、お経の教えを七五調の和歌にして曲にのせて唱えるもので、真言宗、浄土宗、禅宗などにそれぞれあります。いくつもの流派があり、高野山真言宗のご詠歌は金剛流という流派です。高野山金剛流合唱団は高野山真言宗の僧侶の中で御詠歌を研鑽した僧侶たちで構成されていて、この日は北海道から九州までの約50名の僧侶による公演でした。

御詠歌は七五調の調子や心にしみるようなメロディーが日本人にはとても馴染みよく、「日本人による日本人のためのお経」と言われます。コンサートを聴いた帰り道は皆口々に「素晴らしかった。御詠歌の響きがまだ耳に残っている」

「お坊さん方がみんな上手で、ハーモニーが素晴らしかった」「私も御詠歌を習いたくなった」などとおっしゃっていました。最近の試みだそうですが、高音と低音に分かれてハーモニーを奏でるのには私も驚きました。公演の最後、45名の僧侶が舞台上に全員集合してお唱えする御詠歌は圧巻で、とても素晴らしいコンサートでした。機会があれば皆様にもぜひ聴いてほしいと思います。



そして、札幌で宿泊し、翌日は余市を観光してきました。昨年の NHK 朝の連続テレビ小説「マッサン」ですっかり有名になりましたニッカウキスキー余市蒸留所を見学に行きました。

ご詠歌で心を癒され、ゆっくり観光もして和やかな研修会となりました。参加された方、お疲れさまでした。



## 「おみがき」を行いました

9月17日、婦人部の皆さんと一緒に年に一度のお寺の仏具磨き（おみがき）をしました。本堂の内陣に飾ってある仏具をすべて下ろしてきて、金属磨きの「ピカール」をつけてひとつひとつ丁寧に磨きます。磨くには力が必要でなかなか大変ですが、皆さんおしゃべりしながらの作業で本堂はとても賑やかでした。

終わったあとはなんだか心も磨かれたような気がしました。婦人部の当番の皆さん、お手伝いありがとうございました。



## 尼僧のわたし

### 「お坊さんブーム到来？」

月曜夜9時からのドラマ、通称「月9」が、今秋はお坊さんのドラマです。見ている方はいらっしゃいますか。普段、ドラマはほとんど見ない私ですが、今回ばかりは毎週録画して見えています。描かれるお寺の内部事情に「うんうん、わかるわかる」と頷いてみたり、コメディータッチの過剰な演出に「それはないよ～」と心の中でツッコミを入れてみたり、なかなか楽しんでます。

そしてもうひとつ注目しているのが、10月24日から公開になった「ボクは坊さん」という映画。24歳で突然住職になることになったお坊さんの話です。実話をもとに作られた映画なのですが、お寺は同じ宗派（高野山真言宗）で、主人公は私と同じ大学（高野山大学）の先輩です。会ったことはないのですが、若くして住職になったところも私と同じで、なんだか親近感を覚えます。原作の本は読みましたが、映画も見に行かなくてはと思っています。

このように、この秋はなんだかお坊さんがブームになっているような気がします。最近では宗教離れだと嘆かれています。このようなデータを見つけました。NHKの『日本人の意識調査』によると、「墓参り」「初詣」「仏壇や神棚に手を合わせる」などの宗教行為をしていると答える人の割合は、昭和48年と平成25年を比較すると増加傾向にあるそうです。中でも墓参りに行く人の割合は69%→78%の増加という結果には驚きました。先祖を大切に手を合わせる気持ちを皆さん忘れていないようです。

今月20日は今年最後の法要です。ぜひお寺にお参りください。